



TOHOKU  
UNIVERSITY

# 東北大学大学院歯学研究科

歯学部

東北大学病院附属

歯科医療センター

## NEWS LETTER

第3号 2009.4



平成21年4月21日

当研究科に懸かる研究不正疑惑について、本日付で国立大学法人東北大学研究不正に懸かる調査委員会から、本研究科職員が関与する研究不正が認められた旨の調査報告書を受け取りました。当研究科は本報告書および本学「研究活動における不正行為へのガイドライン」に則り、厳正に対処するとともに、研究科職員に対して研究倫理の徹底を図り再発防止に努めます。

御迷惑、御心配をおかけした関係各位の皆様には深くお詫びを申し上げます。

東北大学大学院歯学研究科  
研究科長 笹野 高嗣



### 新・歯科医療センター長挨拶

歯科医療センター長 佐々木 啓一

皆様には、平素から当センターの運営にあたって大変お世話になっております。平成21年2月1日から、小松前センター長の後を受け、センター長に就任しました佐々木です。ニューズレターの発行に当たり、ご挨拶を申し上げます。

歯学部附属病院を前身とする当センターは、おかげさまで来年には45周年を迎えますが、45周年は新外来棟で迎えることとなります。皆様、既にご承知のように、歯学部附属病院と医学部附属病院は平成15年に組織上の統合を果たし、東北大学病院となりました。しかしながら、北六番丁通りを挟んで両院が存在することから、医療法上は別病院となっておりました。平成19年に新東病棟が完成したのに伴い、歯学部附属病院の病床、手術室を移転し順次統合を進めた結果、歯科外来部門のみが残り、医療法上の事由により歯学部附属病院から東北大学病院附属歯科医療センターへと改称し現在に至っております。平成19年度には新外来棟建設が認可され、来る7月には竣工予定となりました。新外来棟へ歯科外来が移転することにより、名実ともに東北大学病院が完成し、また私どもの病院も新しく生まれ変わります。新外来棟は、旧医学部附属病院外来棟の北側に位置します。現在も私の部屋から急ピッチで工事が進んでいる様子が見えます。新外来棟への移転は、12月中に行う予定で、現在、職員一同、力を合わせて移転準備を進めております。昨今の状況で、移転経費の工面が難航しましたが、大学本部のご理解、ご協力のもと移転経費の目途もようやく立ち、新診療室の姿がおぼろげに見えてきているところです。新外来棟での診療は、平成22年1月から開始いたします。

さて、新外来棟は地下1階、地上5階の建物で、歯科外来部門は3階フロアの半分、4階、5階に設置されます。3階部分には小児発達系の診療部門が、4階はプライマリケアと外科部門が、5階には保存、補綴

を中心とした診療部門が入る予定です。新外来棟の開設に併せて、病院全体としての医療情報システムの更新も行われることとなり、検査、画像情報等も全てオンラインでの管理となります。予算の都合上、診療ユニット全てを新しくとはいきませんが、相当数のユニットを更新する予定にしております。新たな設備のもとでの診療を開始するわけですが、求められる患者中心の歯科医療を具現化するうえでは、診療体制の整備が欠かせません。もともと東北大学歯学部附属病院は、教育研究を担うとともに地域の歯科医療の中核病院として設置されております。東北大学病院歯科部門（仮称）もまた、医科歯科連携の強化とともに地域歯科医療の中核としての位置づけが求められます。特に、特定機能病院として位置づけられる東北大学病院としては、地域の医療機関との連携をこれまで以上に強化していかなければなりません。これらを鑑みたとき、私どもが構築すべき診療体制は、自から明らかとなります。それは疾患ベース、患者ベースの高次医療としての診療体制です。そのためには現行の教育研究に立脚した研究科の分野に対応した診療科体制のみならず、疾患対応型の専門外来、センターの構築が必要となります。



その先駆けとして、本年2月から当センターでは、インプラント外来を設置しました。この専門外来は、外科、補綴、歯周病等の専門家からなりインプラント治療全般を行います。病診連携を行いやすくするため、検査、診断、治療方針の立案、インプラント埋入といったステップごとの患者紹介を受け入れることとしております。また患者さまを紹介していただいた医師、歯科医師の方々にも参加していただくようなシステムを作っております。このような専門外来を新外来棟移転後にはさらに数を増やし、地域の診療所、病院との連携を図っていきたく考えております。大学法人の附属病院は自己収入での運営が求められております。外来棟の建設費、移転費、設備費等も全て返還していかなければなりません。そのためには病院の収入増が必然となっておりますが、地域医療の枠内で私どもができることは地域の医療機関からの患者さまの受け入れとなります。私どもも地域の先生方が利用しやすいようなシステム整備を継続的におこなってまいりますので、皆様にも是非ご理解をいただき、多くの患者さまのご紹介をいただければ幸いです。

## インプラント外来

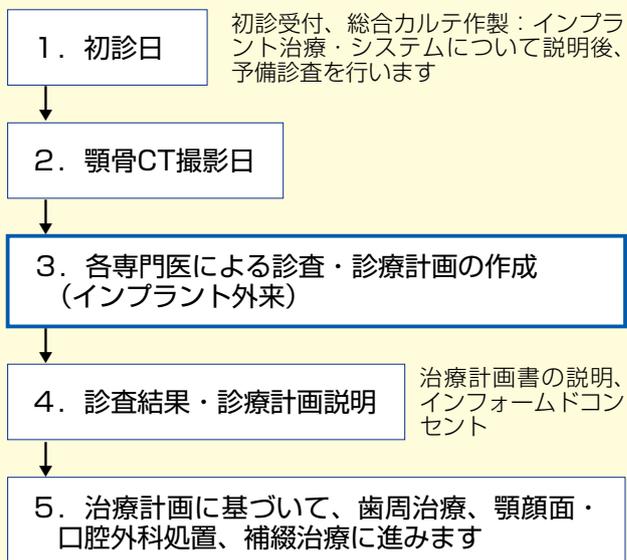
**場 所** 1階 口腔診断科診療室  
**新患診察** 金曜日13:00~16:00 (完全予約制)  
**連絡先** 022-717-8364 (担当 小山重人准教授)

## インプラント外来の目指す診療

1. 歯科インプラント診療の病院内一元化
2. 安心安全のチーム医療・先進医療の提供
3. 診療計画（クリニカルパス）に基づいた包括的診療の提示

画像診断、歯周病、顎顔面・口腔外科、補綴各科専門医が診査を基に治療計画書を作成し、その後の治療も連携して包括的に進めてまいります。紹介元、患者のニーズに応じて、診断、セカンドオピニオン、外科処置のみを引き受けることも可能です。

## インプラント導入診査から治療計画の説明までの流れ





# 生理的骨形成を再現する可能性を持つ バイオマテリアルの開発

顎口腔機能創建学分野 教授 鈴木 治

当研究室では、骨を中心とした組織再生の分野において、材料科学に基づくもの作り、また工学に基づく生体・細胞の解析によるティッシュ・エンジニアリング研究を進めている。その中のひとつは、骨欠損部への補填により、生体のリモデリングを受けて新生骨と早期に置換するような、自家骨に匹敵するバイオマテリアルの開発である。対象とする物質はリン酸オクタカルシウム (OCP) という合成の人工材料である。OCPは、生体内で吸収され新生骨と置換する傾向を示す。

OCPは骨や歯のアパタイトの前駆体として位置づけられる物質である。研究を開始した1990年頃に、「OCPが骨のアパタイト形成の前駆体として存在するならば、生体の周囲成分と相互作用して骨形成にポジティブに作用するのではないか」という仮説を立てた。しかしながら、当時はOCPの安定的合成方法が無く合成方法の確立に取り組んだ。結果として得られたOCPは、ヒドロキシアパタイト (HA) を含む他のリン酸カルシウム系材料よりも格段に優れた骨再生能を示すことがわかった。また、最近の研究から、OCPはin vitroで骨芽細胞様細胞の骨芽細胞への分化を用量依存的に向上させることが判明した (図1)。この作用はOCPからHAへの転換に伴う物理化学的变化が引き起こす生体成分との多様な相互作用によるものと考えている (図2)。

基礎から臨床への橋渡し研究も行っている。医工学研究科の鎌倉慎治教授、口腔外科学分野の越後成志教授 (賦形性および優れた骨再生能を有するOCP/Collagenの開発

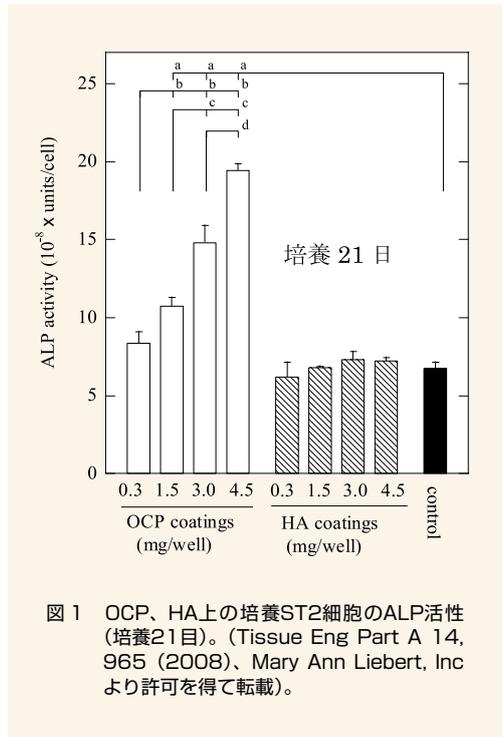
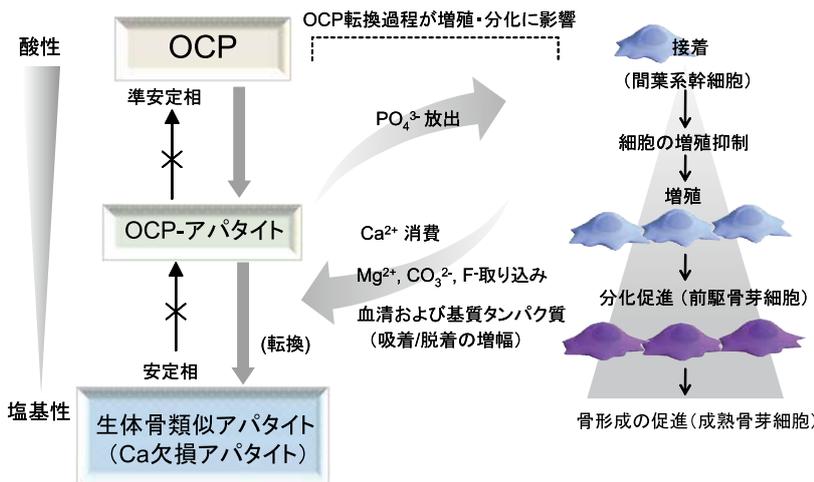


図1 OCP, HA上の培養ST2細胞のALP活性 (培養21日)。(Tissue Eng Part A 14, 965 (2008)、Mary Ann Liebert, Inc より許可を得て転載)。



研究)、あるいは整形外科分野の井樋栄二教授 (従来のOCPを格段に上回る骨再生能を示す低結晶性OCPの開発研究)らと共同研究の展開を図っている。

近年、次世代の開発目標のひとつとして細胞に能動的に働くバイオマテリアルの開発が挙げられている。OCPはその候補物質になると同時に、生理的な骨形成を再現する人工材料になる可能性がある。現在のところ、OCPは、まだ研究段階にある。共同研究の臨床の先生方にお力添えをお願いし、実際に臨床応用できるようになればと願っている。

## 第55回東北大学歯学会開催のお知らせ

第55回東北大学歯学会の開催をご案内いたします。一般口演演題の多数の応募を期待しております。

1. 日時：平成21年6月26日 (金) 3時から 総会、一般口演、教授就任講演：熊本裕行教授 (口腔病理学分野)

2. 場所：東北大学歯学部B棟1階講義室 3. 演題応募：一般口演 (発表時間8分)・平成21年5月22日 (金) 必着

# 掲 示 板

詳細は歯学研究科ホームページ(HP)をご確認ください。http://www.ddh.tohoku.ac.jp/

平成21年の主だった行事日程を示します。詳細はHPを参照して下さい。

- 4月7日(火) 東北大学入学式
- 6月4日(木)・5日(金) 第19回日本顎変形症学会総会・学術大会 (大会長：川村 仁)
- 6月6日(土) 仙台市歯と口の健康づくり市民の集い 歯学研究科一般公開講座 (一般市民対象)
- 6月22日(月) 創立記念日
- 6月26日(金) 第55回東北大学歯学会
- 7月30日(木)・31日(金) オープンキャンパス (学部入学志願者対象)
- 7月30日(木)・8月3日(月) 理数系教員指導力向上研修 (小学校・中学校・高等学校 理科教員対象)
- 8月4日(火)・5日(水) 免許状更新講習(小学校・中学校・高等学校 養護教員対象)
- 9月5日～10月3日 みやぎ県民大学公開講座(各水曜日5回開講、一般市民対象)
- 9月26日(土)、27日(日) 日本解剖学会第55回東北・北海道連合支部学術集会 (大会長：笹野泰之)
- 10月10日(土)・11日(日) 東北大学ホームカミングデー
- 10月27日(火) 医学部・歯学部合同慰霊祭
- 10月29日(木)、30日(金) 第131回日本歯科保存学会 (大会長：小松正志)
- 12月下旬 歯科医療センター診療制限 (外来棟移転のため)
- 平成22年1月4日(月) 東北大学病院歯科部門 仕事始め (新外来棟にて)

## 平成21年度10月入学 歯学研究科大学院生募集

10月入学の博士課程若干名を募集します。社会人大学院生の制度もご活用下さい。

- 募集日程
- 6月下旬 出願資格審査申請期限 (該当者のみ)
  - 7月下旬 出願期間
  - 8月中旬 試験日

## 平成22年度歯学研究科大学院生募集

修士課程6名、博士課程47名を募集します。社会人大学院生の制度もご活用下さい。

- 1次募集 ■2次募集
- 6月下旬 10月下旬 出願資格審査申請期限 (該当者のみ)
  - 7月下旬 12月上旬 出願期間
  - 8月中旬 12月下旬 試験日
- ※ 大学院募集要項の公表は6月となります。  
連絡先：教務係 (022-717-8248)

## 平成22年度歯科医師臨床研修募集 平成21年度がん口腔ケア特別研修 口腔がん健診特別研修 研修生募集

これらの情報はHPを参照して下さい。

### 第19回日本顎変形症学会 総会・学術大会

会 期：6月4日(木)～5日(金)  
会 場：仙台国際センター  
大会長：川村 仁 (顎顔面外科学分野)  
概 要：著しい骨格性不正咬合に対して質の高い診断と治療を目指し、「Quality of treatment」をテーマに、開催されます。

### 日本解剖学会第55回東北・北海道連合支部学術集会

会 期：9月26日(土)～27日(日)  
会 場：民権会館 (仙台市)  
会 頭：笹野泰之 (顎口腔形態創建学分野)  
概 要：医学部、歯学部および獣医学部等の解剖学関係者が所属する日本解剖学会の東北・北海道地方会。

### 第131回日本歯科保存学会

会 期：10月29日(木)～30日(金)  
会 場：仙台国際センター  
大会長：小松正志 (保存修復学分野)  
概 要：「これからの保存治療」をメインテーマにW. J. Fingerケルン大学名誉教授、中林宣男東京医科歯科大学名誉教授による特別講演、シンポジウム等が行われます。

## 人 事

祝 九州大学大学院歯学研究院 口腔常態機能発達学分野 教授 に着任されました。祝

### 大学役職を離れた方

3月	口腔器官構造学分野	教授	菊地 正嘉	定年
3月	口腔生理学分野	技術専門職員	鈴木 興蔵	定年
3月	口腔生理学分野	技術専門職員	佐藤 博泰	定年
3月	口腔病理学分野	技術専門職員	阿部 厚	定年
2月	矯正歯科	助教	台丸谷隆義	退職
3月	顎口腔矯正学分野	准教授	高橋 一郎	退職
3月	顎口腔矯正学分野	助教	冨塚 亮	退職
3月	矯正歯科	講師	佐藤 亨至	退職
3月	口腔障害科学分野	助教	春山 直人	退職
3月	口腔診断学分野	助教	小野寺 大	退職
3月	顎顔面外科学分野	助教	鈴木 孝裕	退職
3月	口腔システム補綴学分野	准教授	伊藤 秀美	定年
3月	咬合回復科	助教	久保 圭	退職
3月	歯周病科	技能職員	井場たみ子	定年

### 大学役職に就かれた方

4月	東北大学病院メディカルITセンター	特命教授	笠原 紳	称号授与
4月	予防歯科学分野	助教	細川 亮一	採用
3月	小児歯科	助教	岩本 勉	採用
4月	小児発達歯科学分野	准教授	中村 卓史	採用
5月	小児歯科	助教	福本恵美子	採用
4月	顎口腔矯正学分野	研究助教	清流 正弘	採用
4月	顎口腔矯正学分野	研究助教	寺尾 文恵	採用
5月	矯正歯科	講師	北浦 英樹	採用
4月	口腔障害科学分野	助教	西村 真	採用
4月	口腔診断学分野	研究助教	小嶋 郁穂	採用
4月	歯科口腔麻酔学分野	研究助教	青井あつ子	採用
4月	口腔システム補綴学分野	研究助教	伊奈 慶典	採用
4月	口腔ケア推進開発寄附講座	助教	洪 光	採用
4月	インターフェイス口腔健康科学事業	研究助教	真樹 弦	採用
4月	インターフェイス口腔健康科学事業	研究助教	本田 義知	採用

## 編集後記

NEWS LETTER第3号を発刊します。皆様のお手元に届く頃にはもうすっかり春で、新たな気持ちで仕事に取り組んでおられる方も多いかと思います。歯学研究科・歯学部・歯科医療センターも、今まさに、大転換期に直面しています。変革に向けた最新情報を、紙面を通して、読者の皆様に少しでもお伝えできたいでしょうか？ 情報の共有こそが、発展の原動力かと思えます。編集委員一同、今後とも、より良い紙面づくりに努力してまいりますので、ご意見等ございましたら何なりとお寄せください。(記 小山)

編集委員 小関健由、小山重人、飯久保正弘、高田雄京、戸田孝史

### 東北大学大学院歯学研究科地域歯科保健推進室

〒980-8575 仙台市青葉区星陵町4番1号  
TEL/FAX: 022-717-8318  
URL: http://www.ddh.tohoku.ac.jp/ E-mail: newsletter@ddh.tohoku.ac.jp